

令和6年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和6年12月24日(火)
午前10時から午前11時10分まで

場 所 茂原市役所5階 502会議室

出席者 委員 17名

深山委員(代理:松下田)、鶴野委員、牛尾委員、成田委員、高山委員、平見委員(代理:川島)、丸岡委員、平井委員、鈴木委員、白土委員、小林委員、伊藤委員(代理:板倉)、佐藤委員、大石委員、中村委員、白井委員、大久保委員、

事務局 5名

都市計画課 白鳥課長、錦織補佐、江澤係長、小関副主査、酒井主事

会議内容(進行:錦織補佐)

1 開会 午前10時

2 副市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

(1) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

<質疑>

委 員: 1ページに障害者手帳所持者、運転経歴証明書所持者の数字があるが、運転免許返納者の最近の推移がわかれば教えて欲しい。

それと、質問ではなく意見になるが、4ページ目の乗合率の算出について、算出方法をもう少し工夫して欲しい。0.2%という数字にあまり実感が湧かない。他の自治体では1運行あたりの利用人数を算出しているところもある。1運行あたり1.2人や1.3人など。こういった算出方法も検討してもらいたい。

事務局: 運転免許返納者の推移は把握していない。

委 員: 今後、増加していくことが予想されるので、会議の中で情報共有できればと思う。もし整理されている情報があれば次回以降で示してもらいたい。今後の公共交通を考える上で重要な要素だと思う。

事務局: 承知した。示せるものがあるのか調査する。乗合率については、算出方法を検討する。

委 員: 7ページのモバスの収支内訳について、現金と回数券以外に例えば年間パスのようなものはあるのか。

事務局：モバスは現金と回数券のみとなる。

委員：6月の会議で乗合率の向上について検討が必要ではないかと意見が出たが、その後の進捗状況について伺いたい。

事務局：次第の5その他で説明するつもりであったが、資料のデマンド交通「ふれあい」利用案内を作成した。こちらをデマンドエリア内の自治会に毎戸配布して、周知を進めようと考えている。

委員：乗合率が低迷している原因は周知不足という理解でよろしいか。

事務局：利用者が少ないので、乗り合いになる機会も少ないと思われる。そこを踏まえるとまだまだ周知が足りないと考えている。

委員：今年の夏は非常に暑く、外に出るのも嫌なくらいであった。そのような状況にもかかわらず、モバスの利用人数が昨年下半期から800人程度増えているのは非常に良いことだと思う。

(2) 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持事業について

<質疑>

委員：令和6年度に国から交付された補助金額がわかれば教えてもらいたい。令和7年度も継続して補助金の交付を受けるのか確認したい。

それと、③前回の事業評価結果の反映状況で交通マップを市内公共施設や駅に配布するとあるが、今年度は何枚作成し、現在の在庫状況は何枚程度なのか教えてもらいたい。また、交通マップを配布して住民から意見を聴取するようなことはあったのか。

事務局：手元に資料がないので正確な金額はわからないが、市民バスは300万、デマンドは150万程度である。市民バス、デマンド共に赤字となっているので、今後もフィーダー補助金の交付を受けながら運行していく予定である。

交通マップについては、年度当初に7,000部を作成した。現在は2,000弱の在庫となっている。基本的には配布を行っているのみであり、住民から意見を聴取するような仕組みは導入していないので、今後検討していく。

委員：⑤目標・効果達成状況でデマンドについては1日の利用者数が11.3人と実績が出ている。1日8便の運行なので、最低2便程は乗り合いになっているのではないか。

事務局：1便の中で、まずはAさん宅に伺い目的地まで送った後にBさん宅に伺うといった方法を取る場合が多く、実際には乗り合いになっていない。

会長：本案について賛成の方は挙手をお願いします。全会一致ということで、設置要綱第7条第4項の規定により承認されたものとします。

(3) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の再編について

<質疑>

委員：市民団体からの請願書は既に提出されているのか。もし、提出されているようであればその意見がどの程度反映されているのか教えてもらいたい。

事務局：請願書は特に提出されていないので意見の反映もされていない。

委員：市民バスの現行の問題点等をまとめた資料があれば示してもらいたい。

事務局：交通計画のP103に記載してある。東部コースについては所要時間の短縮、南部コースにつ

いては往復利用しやすいダイヤへの増便等を求める声が上がっている。

委員：案1、案2はそれぞれが独立した素案となっており、例えば案2の一部を案1に入れ込むといった修正方法は出来ないのか。先程の問題点の改善とも連動してくると思うが、どのような意図があってそれぞれの案を作成したのか、解像度を高めてもらおうと意見を出しやすいと思う。

事務局：必ずしも案1、案2に固定するものではない。交通計画にも記載のある通り、東部コースの時間短縮を目指した経路、もしくは主要施設を通る市街地循環コースを検討することとなっているので、その2パターンを作成した。委員の皆様から意見をいただいて両方を合わせたものになる可能性もある。

委員：3案目があってもよいということか。

事務局：その通り。

委員：質問等があってもそれに回答した場合は全委員に共有してもらいたい。

東部コースを短縮する代わりに南部コースを延長するなど、それぞれの案にコンセプトがあると思うがそれを共有してもらえるとありがたい。

事務局：案1については、東部コースを2つに分け、片方を大芝まで延長してある。東部コースを延長した分、鶴枝コースを縮小してダイヤを改正し、便数を増やせるように考えている。五郷コースについては今まで通っていなかった茂原公園、中部団地方面を追加した。住宅地も多く、茂原公園は花見客の利用も想定される。案1は東部コースを分割したことで、時間の短縮、便数の増加を図ったものとなっている。

案2については、東部コースの利用率の低い七渡方面を通らないことで、時間を短縮したものとなっている。そのかわりに主要施設循環コースを設定した。主要施設は茂原駅・市役所・アスモ・市民体育館・カインズ・ベイシア・長生病院を想定している。

委員：便数は具体的にはどのくらい増えるのか。

事務局：まだ素案なので、具体的な便数までは出せていない。

委員：意見書については、必ず各委員が案1か案2かそれ以外の案かを記載する必要があるのか。意見なしとしても良いのか。

道路管理者等との調整はまだ行っていないとのことであるが、一般の路線バスに影響が出ないようなコース設定になっているのか。茂原市は中心市であるので周辺の市町村から市を跨って路線バスが運行している。市民バスが便利になった分、路線バスの利用者が減ってしまうことも懸念される。今回の案では既存の路線バスのルートは記載されていないが、交通事業者との調整はどのように行うのか。

事務局：意見書については、どちらの案が良いのか判断を求めるものではない。それぞれの案の一部分だけでも問題ないので、幅広く意見を聴取したい。

再編ルートについては、小湊鉄道と協議しながら作成している。タクシー事業者についてもデマンド交通の再編内容が決まったら、説明に行くつもりである。

会長：委員の方々の意見を書面にてお願いしたいと思う。市民バスのルートを変更するというのは大変なことだと思う。今後の茂原市のためにも皆様の意見を頂戴したい。

5 その他

6 閉会 午前11時10分